

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院がん遺伝子検査外来において Guardant360 を受けた患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第3講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

血液を用いたがん関連遺伝子のマルチプレックスパネル検査施行症例の横断研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学内科学第3講座 助教 徳留なほみ

3. 研究の目的

Guardant360 は、がん細胞が持っている遺伝子変異を正確に調べるための検査である「がん関連遺伝子のマルチプレックスパネル検査」のひとつで、血液を使って73個のがん細胞由来の遺伝子の情報を調べることが可能です。本研究では Guardant360 を受けられたそれぞれの患者さんでどのような結果が得られ、どのように治療選択に結びついているかを調査することで、がん関連遺伝子のマルチプレックス検査の日常臨床への応用可能性について把握することを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

固形がんの患者さんで、2018年11月30日から2025年12月31日までの期間中に、Guardant360の検査を受けた方、受ける方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、病名、年齢、性別、病理検査の内容、病歴と治療歴、Guardant360の結果に関する情報です。

(3) 方法

本研究は本学のみで行います。Guardant360の結果とそれによる治療選択の傾向を把握します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学内科学第3講座 担当医師 徳留なほみ

TEL : 073-441-0619 FAX : 073-446-2877

E-mail : ntokudom@wakayama-med.ac.jp